

『木と暮らしの情報館』

— 木の良さ、素晴らしさに感動した人たち —

塚本道夫

はじめに

近年、人々の生活が豊かになるにつれて、個性的なライフスタイルが強調され、新築住宅のデザインは多様化の時代に入っています。

生活のなかで木の良さが見直され、新たな関心、期待が高まりをみせ、木のある豊かな暮らし「木のブーム再来」の波は確実に広がりつつあります。

こうしたなかで、道民のニーズに応えるため、木製品の総合情報センターの使命を担って、昨年6月、道立林産試験場の構内に、「木と暮らしの情報館」がオープンしました。

館内には、道内企業約130社より、床材、壁材、ドア、サッシ、いす、小物家具、クラフトなど270点が展示され、また、集成材コーナー、ハ

ウスコーナー等が設けられています。さらに、林産試験場が研究開発した、カラマツLVL、MG処理パーティクルボード、セメントボード、モザイク装飾パネルの木タイル、可塑化木材ほか30種を展示しています。

情報提供の場としてカタログコーナーもあり、38社から61種をとりそろえ、きめ細かい対応が行われています。

来館者は自由に展示品を手で触れ、木の良さを実感しながら、樹種、製品構造、価格などの情報を容易に入手することができます。詳しくは説明員が配置されており、館運営に万全を期すよう努力しています。

昨年12月末日までの来館者は、表1のように、およそ2万2千名で、国内はもとより海外からも

表1 「木と暮らしの情報館」来館者集計表

平成6.3～12.28現在

	来館者数	職 業 別							地 域 別			
		官公署	木 材	建 設	学 校 (研究)	外 国	グループ	一 般	市 内	市 外	道 外	外 国
6 月	4,891	237	94	46	902	27	750	2,835	2,643	2,062	159	27
7 月	5,079	364	719	10	344	2	1,632	2,008	2,387	2,539	151	2
8 月	4,573	85	110	2	24	20	1,462	2,870	2,491	1,580	482	20
9 月	3,566	120	187	90	257	40	1,151	1,721	1,746	1,676	104	40
10 月	2,383	288	161	32	190	34	718	960	1,024	1,216	109	34
11 月	1,072	108	148	25	33	25	475	258	691	330	26	25
12 月	400	48	21	8	7	3	194	119	160	218	19	3
合計	21,964	1,250	1,440	213	1,757	151	6,382	10,771	11,142	9,621	1,050	151
%		5.7	6.5	1.0	8.0	0.7	29.1	49.0	50.7	43.8	4.8	0.7

(外国) 中国、韓国、ソ連、カナダ、アメリカ、フィリピン、インド、マレーシア、インドネシア、パラグアイ、スリランカ、ウルグアイ、トルコ、タイ、エクアドル、スーダン、ペルー、フィンランド、スウェーデン、バングラディッシュ



木と暮らしの情報館



情報館のエプロン「木レンガ」と「プランター」

迎え入れています。

道民の方が圧倒的に多く、木材業および建築業、研究機関、官公署、学校ほか、森林組合役員、林業グループ、公民館活動、PTA、農協婦人部などのグループが全体の51%を占め、一般の方は49%でした。

これらの来館者が、情報館、展示品等について、どう受けとめられたのか、その一端ではありますが真実の声、気持ちなりを、説明員が接して得た感想を含めて述べ、参考に供したいと思いません。

貴方に木の良さ差しあげます

モデル木造施設として、情報館の^{くたい}躯体はカラマツ大断面集成材に支えられ、両妻面の大きなスペースのガラス張り、中央屋根の天窓、扇型のユニークな建築形状に、来館者は一様に驚きの目を見張ります。

まず、車から降りてエプロンの^{もく}「木レンガ」の上で歩みが止まります。

半円形に約7m²の広さに敷きつめた木レンガ、そこには木の素朴さ、足もとに軟らかく触れる心地よい感触が、きっと脳神経をやわらかくくすぐるからでしょう。

誰が言うともなしに、「木っていいね」の声が自然と湧き出るかのように聞こえてきます。

外部空間に広がる木製デッキ、音楽会でも想像したのか、小さくうなずきながら一、二、三段と奥まった回廊へと目を走らせていきます。

扇型の情報館と、外部に広がる素朴な木質の空間、このコンビネーションに知らずと木の良さの洗礼をうけはじめています。

館へのアプローチに歩みを進めると、左右にカラマツ円柱材でできたプランターのレンゲツジの花が、可愛らしく出迎えてくれます。

情報館のロビーで、45°勾配の大屋根を支えるカラマツ集成材の11本の梁、内側に45°傾斜して立つ軒柱、ドリフトピン接合部が新技術の構法を教えてくださいます。妻面の大ハイサイドライトから、合掌フレームの広い空間を光が^{あやな}彩し、主役である木製品が明るく、かつ優雅な姿で、正に檜舞台を眺める感があります。

「わあ、素晴らしいね」の声、「ようこそおいでいただきましてありがとうございます」。説明員からの挨拶で話ははじまります。

情報館がつくられた目的、規模、経費と国の助成、カラマツの内装、外装材とシウリザクラの木製窓、出展企業と木製品の種類などの話が続く。

「皆さん、木の良さとはどのようなことでしょうか、お解りですね」。入館者のなかには、げんそう顔の方もいます。

一つ目はと指示し、「木には自然の温もりがあります」。二つ目、「木には優しさと美しさがあります」。三つ目、「木は私たちの心を豊かにし、健康を支えるのに役立ちます。音の響き、湿度や温度を和らげます」。そうねという感じ。四つ目、「木は私たちの智恵、夢、創造に応じ、どのような形にもなって、生活に役立ってくれま

す」。そうだとややうなずいてくる。

木の良さとは、木のある生活には「やすらぎ」があると言うことではないでしょうか。木のある生活、そこには「やすらぎ」があります。人生に一番大切なことだと思います。いかがでしょう。

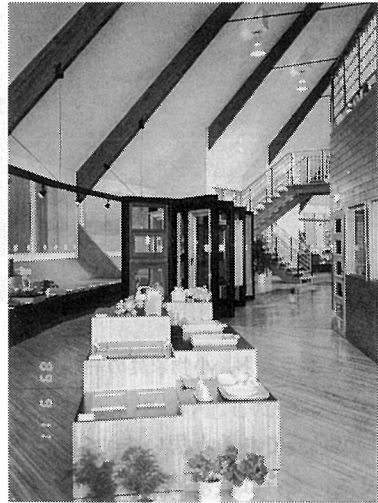
木には種類によって個性というか、持ち味があります。この持ち味の良さを十分に生かす努力を、企業の方々がなさっております。木の良さを最大限に利用できるよう、製品を造られる方が考え、努力していることにも注意し、目で見、手で触れて、木の良さを味わっていただきたいと思えます。うなずく人が多い。

「木と暮らしの情報館」で体験しました木の良さを、お家へ持ち帰っていただき、子供さん、親しい人々にお伝えください。どうぞごゆっくり、心ゆくまでご覧ください。ご相談ありましたら、ご遠慮なくお申し出ください。

説明員の話は、ここで一つの区切りとしています。

入館者は、小学生から高齢者まで、年齢の幅は当然広く、職業を含めると非常に広範な階層になります。

カラマツ材の説明にも、カラマツを知らない人がいます。「落葉キノコを知っている人は手を挙



入口より奥を見る

げてください」。からの話を始めなければならぬこともあります。

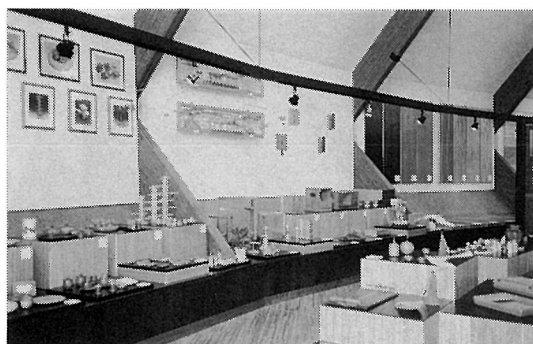
親しい友人をつくるには、まず相手の名前を知ることから始まります。木の良さを知ることにも共通する基本的なことです。

話し方で大切なことは、明るい声で好感を与えることのように思います。声が大き過ぎると、話は相手の頭上を越えてゆく懸念があり、多少低く、優しさを込め、相手の胸で受けとめていた

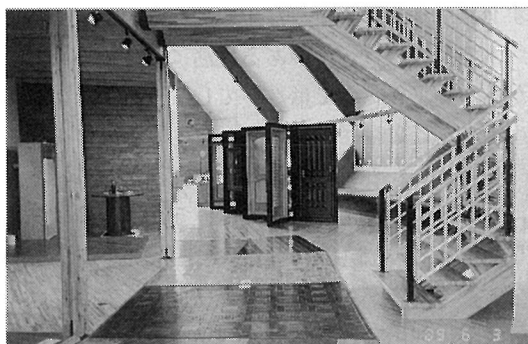
表2 「木と暮らしの情報館」来館者の感想

平成. 6. 10~11. 30

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 素晴らしいですね ・ とても美しいです ・ 大変立派なものです ・ 色々なものがありよかった ・ 可愛いものがあった ・ 将来の勉強になった ・ 木は素晴らしくよく展示されている ・ 木の香りがすずしくよかった ・ 木の素晴らしさ、大切さを知った ・ 木の利用について子供たちに教えてやりたい ・ 木の種類がこんなにいっぱいあるとは知りませんでした ・ 北海道産の木は美しく、材質もよいと思う ・ 建物が木のよさを表している ・ 素晴らしい建物です ・ 家を新築する際の参考になった ・ 木のいすがよかった ・ 木製品をつくる技術が思った以上に進歩している ・ 工夫によって素晴らしいものが完成し、最高です ・ 林産試験場は日本文化、伝統に多大な貢献をされている ・ 展示品は素晴らしいが、価格が高すぎる | <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示品がもう少したくさん、色々な種類があったら ・ 木材の説明書があったほうがよい ・ 強度、適性等文字で説明があるとよい ・ 合板の種類など実物でよく解ったが、構造、役割等の説明がされていれば ・ もっと家具を色々な大ききでつくったらよいと思う ・ 製作所名は解るが、どこにあるのでしょうか ・ 木製品は、いまやアート（芸術）がないと苦しいような気がした ・ 木製品をデザインする人に頑張ってほしい、中途半端なものもある ・ トイレの内装も木を利用し、新しいものを作ってほしい ・ ウッドクラフトの材料に木の名前を表示したほうがよい ・ クラフトの展示が目立つ、公平な立場で ・ 構造的な資料があったが、どこに相談したらよいか、PRがあれば ・ 生活の中に「こんな木が使われているのだよ」と言うふうに出ればよいと思う ・ 大変よかったがPRをもっとしたほうがよい |
|---|---|



クラフト、小物家具の一部



フローリング展示コーナー

く気持ちが必要であると思います。

木の良さ、それは展示品を見て感じていただくことですが、「木の良さの五つの話」、再度聞き直して、熱心にメモして帰る人もいます。まさに「貴方に木の良さ差しあげます」の参考になったと喜んでいきます。

素晴らしい木製品をどう見たか

情報館の展示品が、素晴らしいと受けとめられていることは確かです。

入館者に、感想を記入していただいた資料を、表2に掲げたので参照して下さい。

普段の家庭生活で、身近に触れあう木製品も多く、それなりに愛着を持っていると思いますが、情報館で展示品を見てうけとめる感覚は全く異なるようです。

単に、道産の優れた木製品であるから素晴らしい、と言う平易なことではありません。

素晴らしいと感ずるのは、展示品の数、種類が多く、トータル的な館内の雰囲気の中で醸しだされる木地の魅力が、見る人々に大きな影響力を与えているからです。つぎに、樹種の特質である木埋（木地）、色調を巧みに活かした技術があり、その製品との触れあいで心から素晴らしいと受けとめる感受性があるからです。

展示品には、構造的に類似するものも多いのですが、真正のれんをかけた創作品であり、自ら価値観を異にし、見る人を深く感嘆せしめるのです。

斬新なつくり、夢、努力等が素晴らしさを引き

出す原点であることは論をまちません。

最近のクラフトは、新デザインの台頭が著しい。

特に、輸入外材のウォルナット、ホワイトアッシュ、アルダー、カリン、パドック、チョウパン、コクタン、コルク等の独特の木地、色調が創造性を高めています。単材あるいは道産広葉樹材とのコンビネーションによって、アート性の高い作品も多くあります。

ナラ、カバ、エンジュ等の道産材を用いた伝統工芸の器（うつわ）は依然と多く、昔ながらの名人芸が秘められています。

入館者から好評を得ているクラフトは、器もの、手持ちの部分を外材飾縁をつけたナラ材のトレイ、ニレの埋れ木の製品など、やや上位にランクされると思います。

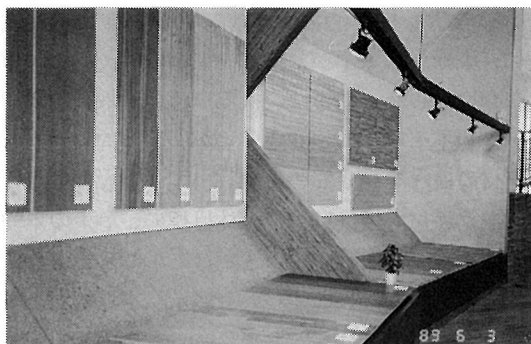
昨年のイベントの際には、ウディピクチャーほか高度の技術作品を持ち込まれましたが、現在、展示品としてここにはないことは残念に思います。

クラフトの技を磨き、優秀作品の展示を競う意味でも、製作側の発奮を期待します。

ナラ、カバ、アサダのむく材のフローリングボード、ブロック等の出展が床材の約50%を占めています。

着色は、ナチュラル（原色）ブラウンが多く、一部にはワインレッドあり、いずれも重厚感があり、入館者に好評を得ています。

複層フローリングは、ナラ単板化粧貼り、W75mm4枚3溝ピッチ、小市松、W15mmピースのモザ



床材、壁材展示コーナーの一部

イクパーケットなど多彩。

着色は、ダークブラウン、ブラウン、ライトブラウン、パステルグレー、ダークブルーなど11種、カラーバリエーションに浮か立つ木目が素晴らしいと人気が高い。

床材、壁材を並立させたディスプレイが、壁面をより充実した展示としています。

優良広葉樹「銘木ツキ板」の素晴らしい素晴らしさが、柱目材、板目材によく表現されています。

集成材、LVLのパネルボードも、入館者の関心は高い。

いすは、ハイバックチェアが主流で、ナラ、カバ材を用い、ダークブラウン、ワインカラーに仕上げた落ち着いた製品が多くなっています。カラマツ材のダイニングチェアも、赤味の色調に魅力があり好評です。

展示品購入の相談あれこれ

—誕生祝のプレゼント—

70才を超えたでしょう、展示品を見ながら、木の良さにひたり満足そうな面持のご夫婦がいました。リアルオークのフィンガージョイントを興味深げに手で触れ、フロアアールの工芸風車調ブロックを見ながら、坪当たり価格の話をし、優れた製品で気に入りましたという。

木のある部屋は、気持ち落ち着きますねと、二階のいすコーナーで何気なく腰を掛け休憩しました。奥さんが、ご主人の誕生日が真近い日であったのか、突然にドールチェアをプレゼントする

と言うのです。ナラむく材の特注手作りの品、上代価格は11万円です。

展示会場の紹介メモを渡しましたが、後日、会社より購入をいただきましたとの連絡がありました。あのほほえましい夫婦の会話、姿をいつまでも思い出します。

—オフィス用の時計—

クラフト展示品のコーナーに、フロア用1点、壁掛け用4点の時計が飾られています。

フロア用の時計は、アイデア、デザイン、アートが要求される現代に呼応した逸品で、本体と支柱と台、それと振り子の部分にウォルナット材を使用しています。文字盤の3、6、9、12時の部分はツリバナ材の白生地、他の部分は赤褐色縞のカリン材で造られ、よく調和しています。また三角形の振り子、ニレの埋れ木の針などきめ細かなデザイン。高さ1,103mm、文字盤270×270 mmの大きさです。上代価格3万8千円で、広くオフィス用に推奨したい展示品の一つではないかと思えます。

—木レンガの利用—

若い2名の女性が、何か子細ありげに訪ねてきました。彼女達は、ぬくもりホールのお事務局長と担当者の方でした。

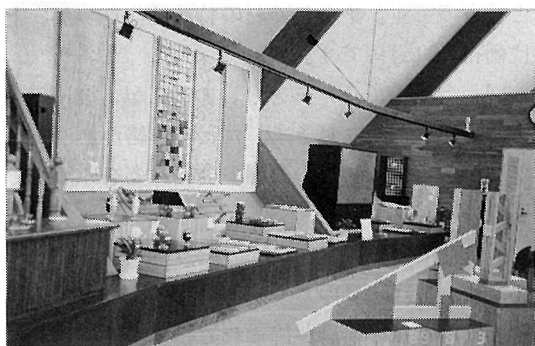
北海道東海大学の川島助教授から、情報館で木レンガの利用を相談するようにとの話で来館したとのことでした。

旭川市開基百年記念事業の一つとして、市が建設する100年記念ホール（平成2年着工、平成4年完成予定）に、「木の街」にふさわしく、ホワイエ内部工事に、市民参加の形で木質系デザインを要望しており、木レンガを床、壁面に取り入れたいとの話です。

室内施工であり、情報館エプロンの木レンガとは当然異なり、木レンガの樹種、仕様など市当事者の基本設計との関連を十分に協議し、すすめることが必要と思えます。

使用樹種は、一応ヤチダモを主体に使用する話が進んでいるとのことでした。

一般的な下地コンクリートへの植え付け方法、



林産試験場の開発製品展示コーナー

レンガ積み壁施工のあらましについて相談しましたが、木レンガの粗野な感じのなかに、温もりをみだす魅力、一番大切なポイントに、担当者は試作を試みて結論を出したいと張り切っていました。

展示品を見て、育林経営意欲が倍増

カラマツ直径30cm前後の素材を多く用いて製材し、通直集成材をはじめ、内外装の壁材など、情報館をモデル木造施設の展示物としたことは、カラマツ林経営者に与える指導的な役割は大きいと思われる。

カラマツ材は内装材としては、生き節、死に節が比較的多く良質材とは言えません。生き節も直径3cmを超えると乾燥処理の段階で割れが入りますが、2cm程度以下では割れは見られません。

カラマツ良質材生産のため、枝打ちの必要性、枝打ちの適期のポイントをあたかも指示しているように思います。

カラマツ更衣ロッカーは、大径材を利用した製品で、木目と赤味の色調の素晴らしさは、他の針葉樹に真似できないもので、カラマツ材の用途の幅の広さを十分認識させてくれます。

二階のカラマツフローリングは、無節材を主に、小節材はわずかで人目を引いています。材質がやや軟らかく、また辺材部に近い木取りが木目を少し不ぞろいにしてはいますが、全体的にカラマツ材の良さを見せています。

カラマツ大径優良材の育林目標に、多少の不安を抱いていた人、30年くらい育て、なんとかなるとその後に放置していた人も展示品を見て、カラマツも満更すてたものではない、と良質材生産に意欲が湧いたと喜ぶ声が多く聞かれました。

おわりに

展示されている優良木製品は、一つ一つに卓越した技術、特色があります。入館者に十分理解していただくよう説明員は努力しています。

木の良さを強調してきましたが、感覚的におおれはなりません。生活文化の先導的な能力を、新製品に投入し、新たな需要を創出することこそ重要であると思います。

木製品は、単なる木製品として見せることなく、複合的な材料による機能開発もあり得ます。業界の多くは、マイペース健全堅持の経営タイプなのか、新市場開拓に向けての強烈なパンチ力の響きが聞こえてこないにも思われます。

「木と暮らしの情報館」の活用による木需拡大をどう考えているのでしょうか。自らの社訓なり、理想を追求した提案を積極的に行うべきではないでしょうか。個々で駄目なら、協同化もあります。大きなアドバルーンを揚げるくらいの気力をもって、北海道林産業界の振興を真剣に、この展示事業を機会に再考していただくことを望むものです。

(前「木と暮らしの情報館」担当職員)